

インド債券ファンド (毎月分配型)

【運用報告書(全体版)】

第22作成期 (2022年11月29日から2023年5月26日まで)

第 127 期 / 第 128 期 / 第 129 期
決算日2022年12月26日 決算日2023年1月26日 決算日2023年2月27日

第 130 期 / 第 131 期 / 第 132 期
決算日2023年3月27日 決算日2023年4月26日 決算日2023年5月26日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年5月31日から2027年5月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 Kインドア・インカム・ファンド (クラスG) 米ドル建て等のインドの債券等 コタック・フレクシー・デット・ファンド (クラスA) インドルピー建ておよび米ドル建て等のインドの債券等
当ファンドの運用方法	■主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つコタック・マヒンドラ・グループが行います。 ■原則として、対円で為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

インド債券ファンド（毎月分配型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 入 率 証 券 組 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		
103期 (2020年12月28日)	円 4,423	円 40	% 0.6	% 96.5	百万円 38,313
104期 (2021年1月26日)	4,430	40	1.1	95.0	37,883
105期 (2021年2月26日)	4,496	40	2.4	96.6	37,375
106期 (2021年3月26日)	4,568	40	2.5	92.2	36,425
107期 (2021年4月26日)	4,350	40	△3.9	95.7	33,825
108期 (2021年5月26日)	4,517	40	4.8	96.0	34,066
109期 (2021年6月28日)	4,506	40	0.6	97.2	32,481
110期 (2021年7月26日)	4,460	40	△0.1	96.5	31,495
111期 (2021年8月26日)	4,433	40	0.3	96.1	30,600
112期 (2021年9月27日)	4,463	40	1.6	95.1	30,140
113期 (2021年10月26日)	4,444	40	0.5	94.6	29,400
114期 (2021年11月26日)	4,519	40	2.6	97.2	29,122
115期 (2021年12月27日)	4,427	40	△1.2	97.2	27,806
116期 (2022年1月26日)	4,373	40	△0.3	95.2	27,108
117期 (2022年2月28日)	4,337	40	0.1	96.4	26,585
118期 (2022年3月28日)	4,446	40	3.4	96.7	26,886
119期 (2022年4月26日)	4,588	40	4.1	97.2	27,231
120期 (2022年5月26日)	4,453	40	△2.1	97.2	25,829
121期 (2022年6月27日)	4,613	40	4.5	95.9	26,512
122期 (2022年7月26日)	4,571	40	△0.0	96.9	26,170
123期 (2022年8月26日)	4,567	40	0.8	95.8	25,895
124期 (2022年9月26日)	4,589	40	1.4	96.1	25,457
125期 (2022年10月26日)	4,626	40	1.7	96.3	25,489
126期 (2022年11月28日)	4,433	40	△3.3	96.7	24,309
127期 (2022年12月26日)	4,194	25	△4.8	96.9	22,926
128期 (2023年1月26日)	4,188	25	0.5	95.2	22,780
129期 (2023年2月27日)	4,211	25	1.1	97.0	22,683
130期 (2023年3月27日)	4,142	25	△1.0	97.2	22,250
131期 (2023年4月26日)	4,289	25	4.2	96.6	22,931
132期 (2023年5月26日)	4,393	25	3.0	97.3	23,372

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

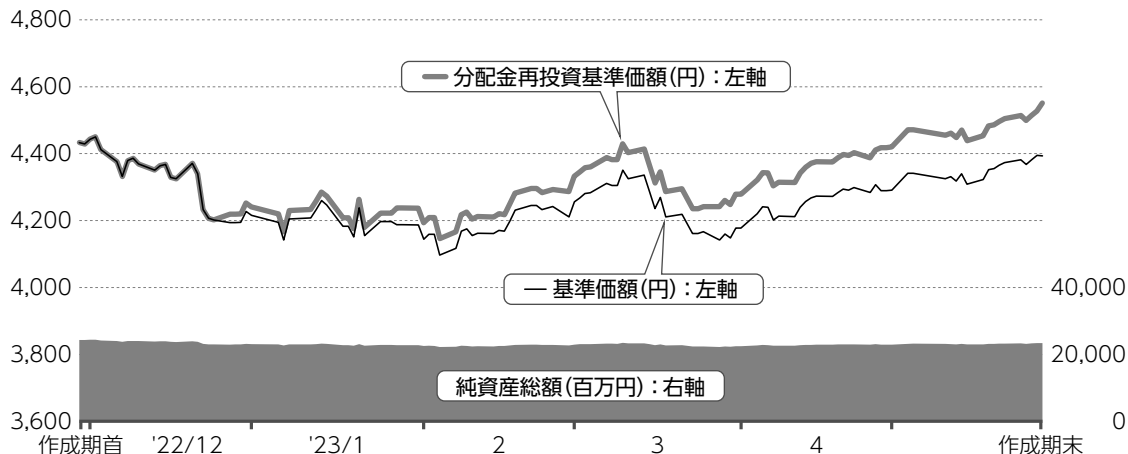
決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第127期	(期 首) 2022年11月28日	円 4,433	% —	% 96.7
	11月末	4,443	0.2	96.7
	(期 末) 2022年12月26日	4,219	△4.8	96.9
第128期	(期 首) 2022年12月26日	4,194	—	96.9
	12月末	4,216	0.5	96.6
	(期 末) 2023年1月26日	4,213	0.5	95.2
第129期	(期 首) 2023年1月26日	4,188	—	95.2
	1月末	4,144	△1.1	95.9
	(期 末) 2023年2月27日	4,236	1.1	97.0
第130期	(期 首) 2023年2月27日	4,211	—	97.0
	2月末	4,256	1.1	96.9
	(期 末) 2023年3月27日	4,167	△1.0	97.2
第131期	(期 首) 2023年3月27日	4,142	—	97.2
	3月末	4,178	0.9	95.9
	(期 末) 2023年4月26日	4,314	4.2	96.6
第132期	(期 首) 2023年4月26日	4,289	—	96.6
	4月末	4,291	0.0	96.7
	(期 末) 2023年5月26日	4,418	3.0	97.3

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年11月29日から2023年5月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,433円
作成期末	4,393円 (当作成期既払分配金150円(税引前))
騰落率	+2.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2022年11月29日から2023年5月26日まで）

投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資しました。外貨建資産については、米ドル建ての債券に投資を行った場合は実質的にインドルピー建てとなるよう為替取引を行いました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- インド国内におけるインフレ圧力が緩和したことに伴いRBI（インド準備銀行）による利上げ期待が後退し、期を通じてみれば、インドルピー建てインド債券の利回りが低下（債券価格が上昇）したこと
- 期を通じてみれば、米ドル建てインド債券のリターンがプラスとなったこと

投資環境について（2022年11月29日から2023年5月26日まで）

インドルピー建てインド債券市場と米ドル建てインド債券市場は、共に上昇しました。為替市場では、インドルピーは円に対して概ね横ばいとなりました。

債券市場

インドルピー建てインド債券市場は上昇しました。インド国債利回りは低下し、クーポン収入を含めたトータルリターンはプラスとなりました。インド国債利回りは、10月のインドCPI（消費者物価指数）が前月を下回ったことや米国債利回りが大きく低下したことを受けて、インド国債利回りは低下して期をスタートしました。RBIは12月に予想通り利上げ幅を0.50%から0.35%へ縮小し、2月には0.25%に縮小しました。5月に発表された4月のCPIは前年比5%を下回り、期を通じて債券利回りは低下しました。

米ドル建てインド債券市場はプラスのリターンとなりました。米国では12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げ幅を0.5%に縮小し、その後2月、3月、5月と3会合連続で0.25%の利上げを実施しました。米国債利回りは1月まで低下基調が続いた後、2月に再び上昇し、3月には金融不安を受けて急低下するなど、月替わりで変動する展開となり、期を通じてみれば小幅に上昇しまし

た。また社債スプレッドは、1月にアダニ・グループの不正会計を指摘する調査レポートが公表されたことや、3月の欧米銀行の経営破綻を受けて一時的にスプレッドが拡大しましたが、期末にかけて縮小基調が続き、期を通じてみれば横ばいとなりました。

為替市場

インドルピーは、期を通じてみれば対円で概ね横ばいとなりました。

米ドル・円は、期初から1月にかけては米国の利上げ停止観測が浮上したことや日銀の政策変更への期待が高まり、米ドル安・円高が進みました。3月には米国地方銀行やクレディ・スイスの経営破綻を受けて一時的にリスク回避の円高が進んだものの、その後は新しい日銀総裁の下で当面政策変更が見送られるとの見方が強まり、米ドル高・円安が進行しました。

こうした米ドル・円の動きに影響を受け、期を通じてみればインドルピー・円は概ね横ばいとなりました。

ポートフォリオについて（2022年11月29日から2023年5月26日まで）

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド(クラスG)」および「コタック・フレキシシー・デット・ファンド(クラスA)」を高位に組み入れることにより、運用を行いました。

K インディア・インカム・ファンド (クラスG)

主に米ドル建てのインド社債に投資しました。また、実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行いました。期を通じて、満期までの期間が3年から5年までの債券のウェイトを段階的に引き上げ、期初に約2.6

年とした期末のデュレーション(投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)を約3.2年としました。

コタック・フレキシシー・デット・ファンド (クラスA)

主にインドルピー建てのインド債券に投資しました。ポートフォリオのデュレーションを低位に維持し、期初に約2.0年としたデュレーションを期末には約1.5年程度としました。ポートフォリオの構成は引き続き国債、国営企業債、社債を中心とし、変動金利の国債を中心としたポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について（2022年11月29日から2023年5月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

分配金について（2022年11月29日から2023年5月26日まで）

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期	第132期
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	(0.59%)	(0.59%)	(0.59%)	(0.60%)	(0.58%)	(0.57%)
当期の収益	21	21	23	22	25	25
当期の収益以外	3	3	1	2	-	-
翌期繰越分配対象額	572	568	567	564	564	565

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド(クラスG)」および「コタック・フレキシィー・デット・ファンド(クラスA)」の高位組入れを通じて、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。

K インディア・インカム・ファンド (クラスG)

米ドル建てのインドの社債については、F F レートは市場予想を上回る水準で推移す

る可能性があるものの、今後大幅な利上げが行われるとは考えていないことから、当ファンドではインカム収入に焦点を当てた運用方針を維持しつつ、米10年国債利回りの取引レンジである3.30~3.80%付近で段階的にデュレーションの引き上げを行う方針です。ポートフォリオが焦点を当てている債券は引き続き信用力の高い投資適格銘柄ですが、個別選択的にハイイールド銘柄を組み入れる方針です。

コタック・フレキシー・デット・ファンド （クラスA）

RBIは市場予想通り6月に政策金利を6.5%に据え置きました。インドのインフレ率は低下基調が続いており、年内は政策金利を据え置く可能性が高いとみています。しかし、エルニーニョによる6～9月のモンスー

ンシーズンの降雨量不足の不確実性を考えると、インフレ動向を継続的に監視する必要があります。そのため現時点ではデュレーション・リスクの大幅な積み増しにはやや慎重なスタンスですが、必要に応じてデュレーション戦略を見直す方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

1万口当たりの費用明細（2022年11月29日から2023年5月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	23円	0.535%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は4,262円です。
（投信会社）	(6)	(0.144)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(16)	(0.376)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.015)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	23	0.538	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

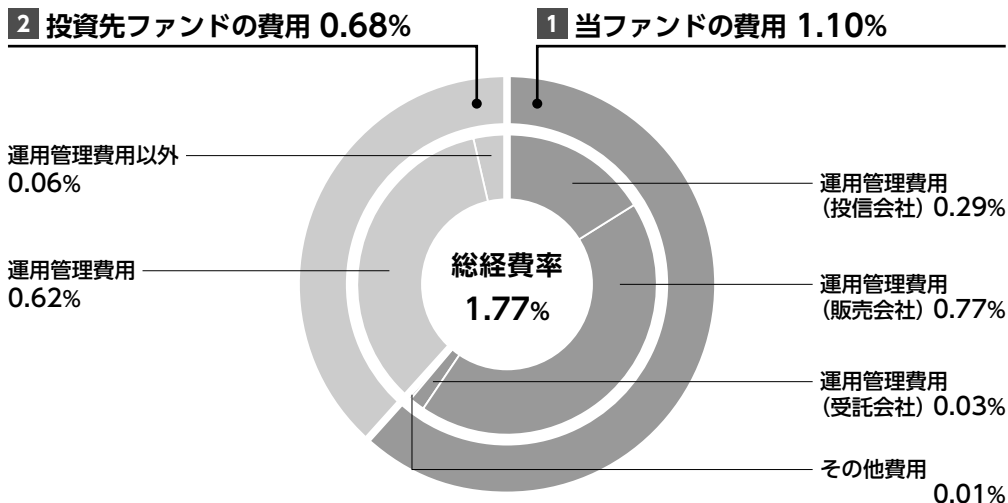
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率 (1 + 2)		1.77%
1	当ファンドの費用の比率	1.10%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

※ 1の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ 2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ 1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.77%です。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2022年11月29日から2023年5月26日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	K インディア・インカム・ファンド（クラスG）	104,295	137,000	297,346	397,000
	コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	2,160	37,000	23,553	410,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年11月29日から2023年5月26日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年11月29日から2023年5月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年5月26日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	作成期首	作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	口	口	千円	%
K インディア・インカム・ファンド（クラスG）	11,707,327.039	11,514,276.592	15,948,699	68.2
コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	384,087.692	362,695.595	6,783,512	29.0
合 計	12,091,414.731	11,876,972.187	22,732,212	97.3

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 投資信託財産の構成

(2023年5月26日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	22,732,212	96.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	892,394	3.8
投 資 信 託 財 産 総 額	23,624,607	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年12月26日) (2023年1月26日) (2023年2月27日) (2023年3月27日) (2023年4月26日) (2023年5月26日)

項 目	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末	第131期末	第132期末
(A) 資 産	23,187,873,077円	22,976,152,840円	22,894,064,115円	22,493,882,113円	23,146,582,077円	23,624,607,083円
コール・ローン等	970,981,909	1,160,625,239	901,987,221	856,506,963	985,198,509	892,394,408
投資証券(評価額)	22,216,891,168	21,677,169,906	21,992,076,894	21,637,375,150	22,161,383,568	22,732,212,675
未 取 配 当 金	-	138,357,695	-	-	-	-
(B) 負 債	261,190,544	196,110,426	210,439,923	242,930,072	215,579,945	251,970,698
未 払 収 益 分 配 金	136,655,498	135,992,426	134,670,806	134,296,534	133,650,707	132,996,874
未 払 解 約 金	104,261,399	38,516,770	53,799,571	89,148,071	61,276,629	97,970,103
未 払 信 託 報 酬	20,110,522	21,452,780	21,818,450	19,338,978	20,503,361	20,853,565
そ の 他 未 払 費 用	163,125	148,450	151,096	146,489	149,248	150,156
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	22,926,682,533	22,780,042,414	22,683,624,192	22,250,952,041	22,931,002,132	23,372,636,385
元 本	54,662,199,284	54,396,970,786	53,868,322,520	53,718,613,899	53,460,283,104	53,198,749,978
次 期 繰 越 損 益 金	△31,735,516,751	△31,616,928,372	△31,184,698,328	△31,467,661,858	△30,529,280,972	△29,826,113,593
(D) 受 益 権 総 口 数	54,662,199,284口	54,396,970,786口	53,868,322,520口	53,718,613,899口	53,460,283,104口	53,198,749,978口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	4,194円	4,188円	4,211円	4,142円	4,289円	4,393円

※当作成期における作成期首元本額54,843,885,171円、作成期中追加設定元本額2,762,046,665円、作成期中一部解約元本額4,407,181,858円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 損益の状況

〔自2022年11月29日
至2022年12月26日〕
〔自2022年12月27日
至2023年1月26日〕
〔自2023年1月27日
至2023年2月27日〕
〔自2023年2月28日
至2023年3月27日〕
〔自2023年3月28日
至2023年4月26日〕
〔自2023年4月27日
至2023年5月26日〕

項 目	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期	第132期
(A) 配 当 等 取 益	139,894,206円	138,125,839円	139,296,494円	139,097,944円	137,834,718円	137,279,824円
受 取 配 当 金	139,936,299	138,154,994	139,321,428	139,118,934	137,852,252	137,323,112
受 取 利 息	62	2,115	2,251	575	1,402	155
支 払 利 息	△ 42,155	△ 31,270	△ 27,185	△ 21,565	△ 18,936	△ 43,443
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,282,052,800	△ 16,259,760	142,882,831	△ 356,767,112	802,298,709	567,231,148
売 買 損 益	7,289,359	12,065,307	143,149,496	551,809	807,000,471	570,815,655
売 買 損 益	△ 1,289,342,159	△ 28,325,067	△ 266,665	△ 357,318,921	△ 4,701,762	△ 3,584,507
(C) 信 託 報 酬 等	△ 20,278,452	△ 21,602,659	△ 21,972,563	△ 19,485,951	△ 20,654,145	△ 21,004,679
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 1,162,437,046	100,263,420	260,206,762	△ 237,155,119	919,479,282	683,506,293
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△10,176,547,682	△11,322,511,495	△11,153,626,243	△10,908,593,565	△11,170,723,955	△10,218,720,292
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△20,259,876,525	△20,258,687,871	△20,156,608,041	△20,187,616,640	△20,144,385,592	△20,157,902,720
(配当等相当額)	(3,112,669,804)	(3,097,819,667)	(3,062,568,360)	(3,047,931,001)	(3,018,734,478)	(3,004,714,175)
(売買損益相当額)	(△23,372,546,329)	(△23,356,507,538)	(△23,219,176,401)	(△23,235,547,641)	(△23,163,120,070)	(△23,162,616,895)
(G) 合 計 (D + E + F)	△31,598,861,253	△31,480,935,946	△31,050,027,522	△31,333,365,324	△30,395,630,265	△29,693,116,719
(H) 収 益 分 配 金	△ 136,655,498	△ 135,992,426	△ 134,670,806	△ 134,296,534	△ 133,650,707	△ 132,996,874
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△31,735,516,751	△31,616,928,372	△31,184,698,328	△31,467,661,858	△30,529,280,972	△29,826,113,593
追 加 信 託 差 損 益 金	△20,259,876,525	△20,263,970,302	△20,162,828,010	△20,202,301,181	△20,144,385,592	△20,157,902,720
(配当等相当額)	(3,112,669,804)	(3,092,537,236)	(3,056,348,391)	(3,033,246,460)	(3,018,734,478)	(3,004,714,175)
(売買損益相当額)	(△23,372,546,329)	(△23,356,507,538)	(△23,219,176,401)	(△23,235,547,641)	(△23,163,120,070)	(△23,162,616,895)
分 配 準 備 積 立 金	14,378,680	-	-	-	1,156,113	1,326,751
繰 越 損 益 金	△11,490,018,906	△11,352,958,070	△11,021,870,318	△11,265,360,677	△10,386,051,493	△ 9,669,537,624

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期	第132期
(a) 経費控除後の配当等収益	119,615,754円	116,523,180円	128,450,837円	119,611,993円	134,806,820円	133,186,012円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	3,112,669,804	3,097,819,667	3,062,568,360	3,047,931,001	3,018,734,478	3,004,714,175
(d) 分配準備積立金	31,418,424	14,186,815	0	0	0	1,137,613
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,263,703,982	3,228,529,662	3,191,019,197	3,167,542,994	3,153,541,298	3,139,037,800
1万口当たり当期分配対象額	597.07	593.51	592.37	589.65	589.88	590.06
(f) 分配金	136,655,498	135,992,426	134,670,806	134,296,534	133,650,707	132,996,874
1万口当たり分配金	25	25	25	25	25	25

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期	第132期
	25円	25円	25円	25円	25円	25円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）
形態	ケイマン籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インドルピー建て以外のインドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資は純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して年0.64%程度*</p> <p>*上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、上記の料率の一部には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）」をシェアクラスとして含む「Kインディア・インカム・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2021年10月1日から2022年9月30日)

(単位：米ドル)

投資収益	6,546,109
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る受取利息	(18,783,365)
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る純損益	(3,107,084)
デリバティブに係る純損益	(15,344,340)
<hr/>	
費用	
管理事務代行報酬	24,765
運用報酬	966,359
保管報酬	17,815
専門家報酬	17,819
その他費用	3,278
監査報酬	13,000
為替差損益	(26,869)
<hr/>	
	1,016,167
<hr/>	
金融費用控除前投資純損益	(16,360,507)
金融費用	
償還可能参加型受益証券保有者に支払った分配金	25,238,787
償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	(41,599,294)

■ 組入上位銘柄

(基準日：2022年9月29日)

銘柄名	通貨	クーポン	償還日	組入比率
1 Canara Bank 3.875% 28/03/2024	USD	3.875%	2024/03/28	8.5%
2 Abja Investments 5.95% 31/07/2024	USD	5.950%	2024/07/31	8.4%
3 Muthoot Finance 4.40% 02/09/2023	USD	4.400%	2023/09/02	6.8%
4 Indian Railway Finance 3.249% 13/02/2030	USD	3.249%	2030/02/13	6.4%
5 Hindustan Petroleum Corp 4.00% 12/07/2027	USD	4.000%	2027/07/12	6.3%
6 NTPC 3.75% 03/04/2024	USD	3.750%	2024/04/03	5.0%
7 Indian Oil Corp 4.75% 16/01/2024	USD	4.750%	2024/01/16	4.6%
8 EXIM Bank 3.875% 01/02/2028	USD	3.875%	2028/02/01	4.5%
9 Rural Electrification Corporation 5.25% 13/11/2023	USD	5.250%	2023/11/13	4.4%
10 OIL India 5.375% 17/04/2024	USD	5.375%	2024/04/17	4.3%
全銘柄数			29銘柄	

※比率は純資産総額に対する割合

インド債券ファンド（毎月分配型）

投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資は純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して年0.64%程度*</p> <p>*上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、上記の料率の一部には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）」をシェアクラスとして含む「コタック・フレキシィー・デット・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日)

(単位：米ドル)

投資収益

損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる純損失	(1, 163, 843)
為替にかかる純未実現損失	(17, 575)
利息収入	2, 630, 174
	1, 448, 756

費用

投資運用報酬及び保管報酬	273, 345
その他の営業費用	33, 612
管理事務代行報酬	20, 000
監査報酬	13, 000
専門家報酬	18, 201
規制手数料	8, 360
営業費用合計	366, 518

税引前利益

所得税控除	1, 082, 238
	58, 572
償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増加額	1, 140, 810

■ 組入上位銘柄

(基準日：2022年3月31日)

	銘柄名	通貨	利率	償還日	比率
1	4.70% FRB GOI 22/09/2033	INR	5.53%	2033/9/22	43.0%
2	7.82% Jammu Udhampur Highway SP 31/12/2022	INR	7.82%	2022/12/31	16.1%
3	7.82% Jammu Udhampur Highway SP 30/06/2022	INR	7.82%	2022/6/30	15.9%
4	6.67% GOI 15/12/2035	INR	6.67%	2035/12/15	14.1%
5	5.15% GOI 09/11/2025	INR	5.15%	2025/11/9	5.1%
6	7.23% Power Finance Corporation Limited (SR -155) 05/01/2027	INR	7.23%	2027/1/5	3.2%
7	9.46% Power Finance Corporation Limited (SR 76 B) 01/08/2026	INR	9.46%	2026/8/1	0.2%
8	9.45% Power Finance Corporation Limited (SR 77-B) 01/09/2026	INR	9.45%	2026/9/1	0.1%
	全銘柄数			8銘柄	

※比率は純資産総額に対する割合